



チームビルディングとは？

(株)チームビルディングジャパン 代表取締役 河村 甚

こんにちは、チームビルディングジャパンの河村甚です。「チームビルディング」が、日本のMICEの現場でも取り入れられる機会がここ数年増えてきました。この連載では、日本のMICE業界の皆様へ、チームビルディングの実情やトレンドをお伝えいたします。

チームビルディングの仕事を始めるに至った背景

私がチームビルディングジャパンを始める前は、イベント制作会社で主に日本の顧客が海外でインセンティブのイベントを実施する際の仕事をしていました。大きな予算で海外での派手なテーマパーティや表彰式の企画運営です。インセンティブですので顧客との打ち合わせを重ね、普通ではお金を払ってもできないような体験を生み出します。

自分の頭の中から生まれたアイデアが、現実の場に生み出されること自体ワクワクします。そしてそれを体験した参加者の皆さんはとても喜んで下さるし、顧客の担当者の方からもイベント終了後に「素晴らしいかったです。ありがとうございました！」と握手を求められるような、嬉しい事、楽しい事ばかりの仕事でした。もちろん夜も寝ないで頑張らなきゃならない日もたくさんありましたが、それでも夢中になってやっていました。

そんな楽しい仕事でも、実はずっと小さな違和感を持ちながらやっていました。インセンティブは営業成績の良い人たちに対する報奨のために行うイベントです。派手なパーティや表書式は確かに心を動かすも

のですが、もっと本質的に参加した人たちのためになる事ができると思っていました。イベントで作り出していたのと同じくらいの楽しく夢中になる体験を生み出し、かつ参加した人たちの成長の糧となる仕事をしたという思いが強くなってきました。そこで「これしかない！」と決めたのが、チームビルディングです。

もともと、イベントの仕事を始める前はアメリカのNPOでリーダーシッププログラムの仕事をしていました。そのプログラムでは、世界中からメンバーが集まり、世界中を旅して回りながらいろいろな体験を重ねる中で、グローバルリーダーシップを育てていきます。そこで初めて「チームビルディング」や「ファシリテーション」の手法に出会いました。いま、チームビルディングジャパンで行っている「体験」と「対話」による組織作りのプログラムの原型は、十数年前にそのNPOで自分が体験してきたものです。この頃の体験はもちろん大変な事もたくさんあったと思いますが、基本的に「楽しくて夢中になる体験」があり、その体験に基づいた「対話」が自分自身の成長へつながっていました。楽しく、夢中になってしまい、かつ成長の糧となるものだったのです。



イベント会社での経験と、それに先立つリーダーシッププログラムでの経験から、「楽しく夢中になり、かつ成長の糧となるもの」として、日本でゼロからチームビルディング会社を始めようと決めました。

そもそもチームビルディングってなに？

チームビルディングという言葉は、ここ数年で随分と日本でも普及してきましたが、現在でもその幅広い内容や使い方で、人によってチームビルディングについての理解が異なっているのが現状です。チームビルディングとは、チームの結束を強めていったり、チームとしてより良い成果が出せる状態をめざした各種の取り組みのことです。私ども、チームビルディングジャパンでは「仲間が思いを一つにして、一つのゴールに向かって進んでゆける組織作り」と定義しています。

そして、このチームをより良くして行くための取り組みにもさまざまな種類があり、それゆえに同じチームビルディングという言葉を使いながら、全く別のものを指しているという混乱も起こりえます。

●組織開発

現状把握やビジョンミーティングなどのセッションを通じて、数ヶ月以上の時間をかけて組織をより良くして行くための各種取り組みです。基本的には話し合う事をベースに進められます。

MICEに関連しては例えばオフサイトでのビジョンミーティングなどがあります。



●組織活性

狭い意味でのチームビルディングです。毎年度のキックオフミーティングで行われるチームビルディングや、部署間の壁を取り払いたいなどの目的で行われます。

手法としては、主に体を動かすゲームのような課題にチームで取り組む「体験」と、その体験に基づいて行われる「対話」とを組み合わせて行われます。この「体験」と「対話」のバランスにより、後述の研修寄りのプログラムになったり、レクリエーションイベント寄りのプログラムになったりします。

MICEでは、各種オフサイトミーティングの成果を高めるために取り入れられたりしています。

●研修

階層別や課題別の各種研修で、「チームビルディング研修」が取り入れられています。例えば、管理職研修で自分たちのチーム、組織がより

良い成果を出すために自分たちができる事を理解するためなどに使われています。手法としては組織活性と同じように「体験」と「対話」をベースに行われますが、研修の場合は「そこからどのように現実の仕事の場へ活かすのか？」など、学習効果の確認が含まれます。

研修はMICEのMに含まれます。



●レクリエーションイベント

職場活性のために行われる各種イベントも、チームビルディングです。例えば組織活性のプログラムで使われるような体験課題を用いる場合がありますが、レクリエーションイベント向けの各種プログラムもあります。きちんとしたプログラム以外にも職場のスポーツ大会や職場旅行、飲み会などもこれにあたります。インセンティブの中で行われるチームビルディングも、レクリエーションイベントがほとんどです。

MICEの観点からは、こういったレクリエーションイベントはこれまでも多くあったため、「チームビルディング＝レクリエーションイベント」という誤解もしてしまいがちです。これはあくまでチームビルディ

ングのなかの一部であり、例えば組織開発のチームビルディングを考えているお客様と話をしている時に、レクリエーションイベントとしてのチームビルディングの認識しかないとすると、話は通じなくなってしまう。

目的や時間などにあわせて、どのようにチームビルディングに取り組むかをきちんと計画することで、同じ時間、予算などの制約の中で最大の成果をあげる事ができます。

POINT

- 「チームビルディング」と一言で言っても人によって意味するものが違う場合がある。
- チームビルディングの目的を明確にできていないと、どのように取り組めば良いのかも分からない。

■河村甚プロフィール■

(株)チームビルディングジャパン
代表取締役

海外リーダーシッププログラムでの仕事と、インセンティブイベント制作の仕事を経て、2006年にチームビルディングジャパンを設立。「体験」と「対話」で、組織を変えるチームビルディングを専門に扱う。

チームビルディングジャパン Web サイト
<http://www.teambuildingjapan.com/>

心が動くからチームが動く



Team Building Japan
体験型！経営者様・人材育成ご担当者様向け
無料体験セミナー

■開催日時

2010年7月21日(水)13:30~16:30

■定員

20名

■対象

経営者様、人材育成ご担当者様

■お申し込み

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.teambuildingjapan.com/JT08.html>

お問合せ先

株式会社チームビルディングジャパン

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-15 五反田壺番館903

■電話番号: 03-6431-9237

■URL: <http://www.teambuildingjapan.com/>

■E-Mail: tbj@teambuildingjapan.com